

データ入稿における注意事項

この度はコーディングARMYをご利用頂きありがとうございます。

本稿では高品質でスピーディーかつ安定したサービスをご提供できるよう、制作時における注意事項を掲載しております。制作いただくデザインデータの正確性によって、コーディングの工数や精度が変わってくる場合もございますので、必ずご確認のうえ、データ入稿いただきますようよろしくお願いいたします。

デザインデータ入稿について

デザインデータ入稿時には、必ず下記の資料をご確認のうえ、ご記入・作成いただきデザインデータとともに提供いただきますよう、宜しくお願いします。

☑ デザインデータ入稿における注意事項（本稿）

デザイン入稿において、まずご確認頂きたい事項をまとめておりますので、必ずご確認をお願いします。

☑ コーディングオーダーシート（必須）

貴会社情報や該当案件についての詳細、コーディングの基本仕様となりますので、必ずご記入をお願いします。

☑ 入稿データ仕様書（必須）

デザインデータについての基本仕様を記入いただくシートとなりますので、必ずご記入をお願いします。

☑ サイトマップ（必須）

コーディング対象となるサイトのページ構成およびメタ関連など、コーディングに必要な各種情報についてご記入をお願いします。

☑ ページ内指示書（必須）※形式は自由

共通パーツに付いての指示、リンク先、Javaなどのアニメーション、sns/動画/map埋め込の指示など『テンプレート』を参考のうえご記入をお願いします。





☑ 入稿前チェックシート（必須）

本稿をお読みのうえ、チェックおよび必要箇所の記入をお願いいたします。

■データ送稿方法

データの送稿はファイル転送サービス【GigaFile推奨（ファイルストレージ・データ便etc...）】をご利用をお願いします。

■対応アプリケーションと保存形式

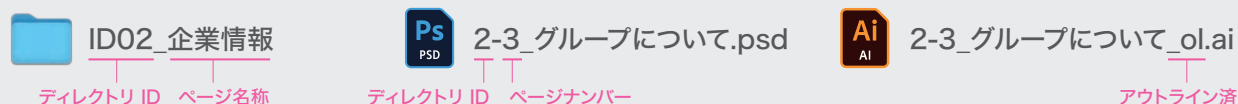
対応アプリケーション	対応可能バージョン	保存形式
 Adobe photoshop CC	CS6 / CC	.psd
 Adobe XD CC	CC	.xd
 Figma	—	.fig
 Adobe illustrator CC	CS6 / CC（本稿5ページ illustrator制作時の注意参照）	.ai

■入稿データのファイル名とフォルダ構成について

入稿頂くときのフォルダ階層をディレクトリマップにあわせた構成でお願いいたします。

また、**ファイル名についても、ディレクトリマップの【ID】と【ページ名称】に記載されているものと同じ名称**にしてください。

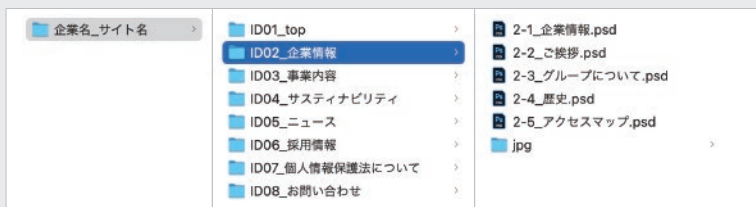
◎フォルダ／ファイル名の付け方



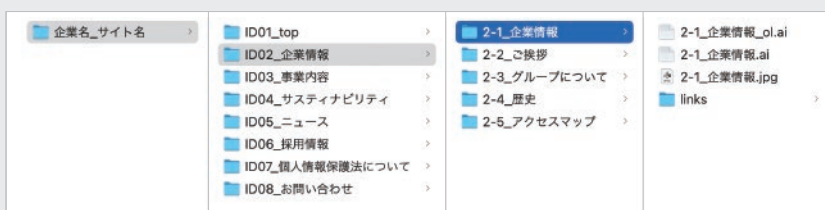
◎フォルダ構成

同じディレクトリ【ID】内に複数のページがある場合は、ページナンバーを付与してください（ex 2-1, 2-2, 2-3....）

Ps photoshopの場合



Ai illustratorの場合



- リンクもれのないよう画像ファイルを格納、または埋め込むようお願いします。
- aiファイルはアウトライン前とアウトライン済みのデータを格納をお願いします。
- ページ全体を書き出したjpg画像も格納をお願いします。

Word Press 依頼時のご注意

- ☒ WordPress新規構築をする場合、クライアント様側で本番環境と同一環境（同一サーバー・同一PHPバージョンなど）の開発環境をご用意ください。同一環境でない場合、本番環境に移行した際の動作は保証いたしかねます。
- ☒ WordPress新規構築をする場合、ご利用されてるサーバー環境により最新のWordPressをインストールできない場合がございます。その場合、希望する機能、プラグインを利用できない場合がありますのでご注意ください。
- ☒ 弊社では納品時にはWordPress本体、プラグインの自動更新機能はOFFにしています。納品後にWordPress本体、プラグインのアップデートを行われた場合の動作については保証いたしかねます。自動更新機能をONにして納品する場合は案件依頼時にお申し出ください。
- ☒ また納品後にサーバー環境の変更（サーバー移転・PHPアップデートなど）をクライアント様で行われたときの動作についても保証いたしかねます。

ご請求日について

弊社よりテストアップとしてテストサーバ等でご確認いただくよう、ご連絡した日より、5営業日以内にご検収のほど宜しくお願いします。

5営業日以内にご連絡が無い場合は、ご検収いただいたとしてご請求させていただきますのでご了承ください。

デザインデータ制作時の基本事項

■サイズ/レイアウトについて

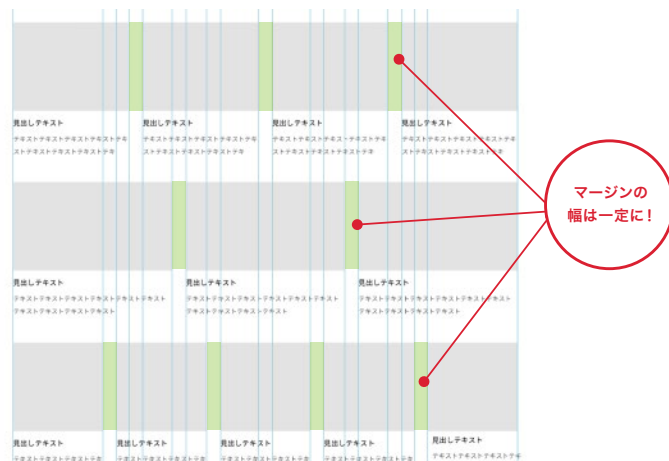
アートボード幅1280~1920px、コンテンツ幅960~1280px程度が目安となります。

☑ コンテンツ幅・カラム幅を設定する。

コンテンツ幅と、カラム・マージン幅を設定し、それに合わせたデザインデータの制作をしてください。

☑ 余白のルールを統一する

各要素間で設定した余白は基本ルールとして全ページ踏襲してください。



☑ 位置合わせの基準点を揃える

ボタンを複数種類作成する際は、ボタンの最小サイズ、テキストが長くなった場合のサイズを決めてください。



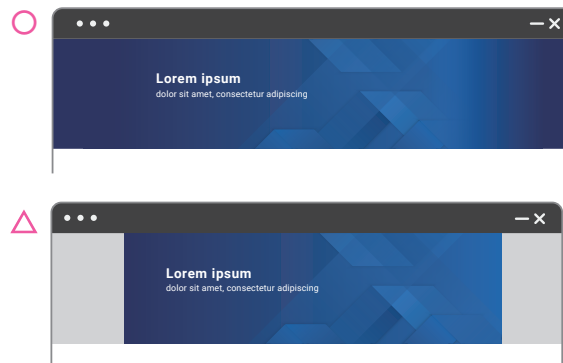
☑ MV(メインビジュアル)のウインド幅への対応

・画像位置センター、サイズも固定の場合

ウインド幅をいっぱいに広げて画像が途切れた場合も、違和感がないよう背景色を設定しますので画像両端が同じカラーになるように設定してください。



ウインド幅を広げても違和感がない



・ウインド幅にあわせて拡大縮小するリキッド対応の場合

必要に応じて大きなウインドサイズ用の画像も用意してください。(w2000px~最大2560px程度)

※ウインド幅によっては画像の天地がトリミングされ見え方が異なります。

■フォント/テキストについて

- ☑ コーディングのテキストで設定できるフォントは、基本的にGoogleが提供しているwebフォント※1か、デバイスフォント※2をご使用ください。

使用するフォント数や太さの種類が多いほど、サイトは重くなります。ある程度使用するフォント数を制限することをおすすめします。

※1 Google Fonts ▶ <https://fonts.google.com/>

※2 デバイスフォント ▶ パソコンやスマホのOSに標準的にインストールされているフォントで、ダウンロードする必要がなく軽量です。

Mac/Windows/iOS/Android/バージョン 等 端末ごとに標準で入っているフォントが異なるため、同じ見た目では再現されません。

【フォント例：メイリオ・MSゴシック・MS明朝・ヒラギノ・游ゴシック・游明朝・Arial etc...】

webフォントは下記いずれかとなります。

●フォントデータをサーバにアップロード ●Webフォントサービスを利用

そのためデザインデータのご入稿時には、フォントデータもしくはWebフォントサービスのタグを必ずお送りいただくようお願いいたします。ご入稿が無い場合は、予定の納期に間に合わない場合がございますので、予めご了承ください。

- ☑ 文字サイズを10pxより小さくしない。

Google Chrome では文字サイズの最小値が10px、safari では9pxとなっています。

それより小さい文字サイズをCSSで設定した場合、無視されて一律最小値の文字サイズで表示されます。

※SPデザイン(750px等で制作される場合)では最低20pxで作成願います。実機での最小表示サイズ以下になるとデザインが崩れる恐れがあるので、その場合弊社で適宜調整させていただきます。

- ☑ 文字サイズ行間などのルールを統一する。

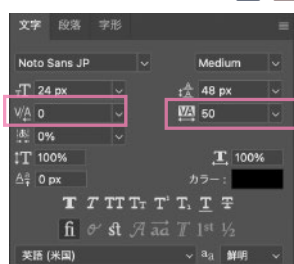
使用する文字サイズ/行間/トラッキングの設定などは、モジュール(参照01)としてセットし、都度異なる数値で設定しないでください。

- ☑ テキストのカーニングにオプティカルやメトクリスなどのツメ情報や、禁則処理などは使用しない。

設定されている場合、テキストコーディングの場合、デザイン通りに再現出来ない場合があります。トラッキングは問題ありません。

トラッキング ▶ 設定可能

Ps Ai



禁則処理/文字組み ▶ なし

Ps Ai

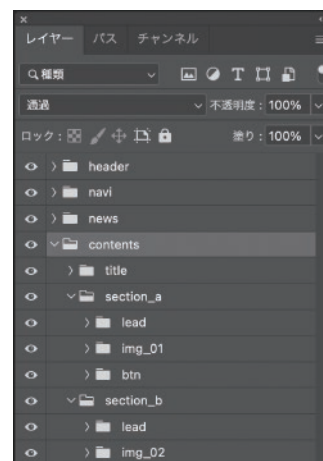


■レイヤー管理について

- ☑ レイヤーは各コンテンツや要素、書き出す単位ごとに、グループ分けや色分けして分かりやすいように整理しておいてください。

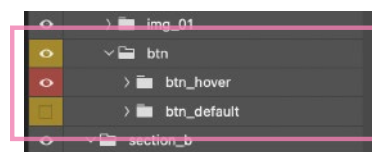
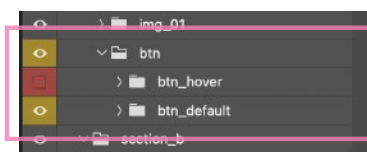
不要なレイヤーは削除しておいてください。

レイヤー階層サンプル



- ☒ ホバーやタブの切替なども、フォルダ分けして表示／非表示でわかりやすく整理しておいて下さい。

ホバーレイヤーサンプル



詳しく見る

詳しく見る

illustrator制作時の注意

illustratorでwebデザインを行う際、紙媒体制作時の設定のままだと、書き出した画像の線や、文字が滲んでしまったり書き出しサイズが1pxずれてしまうなどの不具合がでしまう場合があります。

下記の設定をお行っておくことで回避できますので、webの適した環境で制作お願いいたします。

- ☒ カラーモードをRGBに設定を

ファイル／カラーモード／RGBカラー。CMYKとRGBでは表現できる色が異なります。webはモニター上で表現されるため、必ずRGBに設定しておいてください。

- ☒ 単位を”ピクセル”に設定する

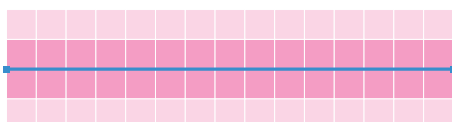
環境設定／単位から 【一般、線、文字、言語のオプション】全てをピクセルに変更してください。

- ☒ グリッドを1ピクセルに設定する

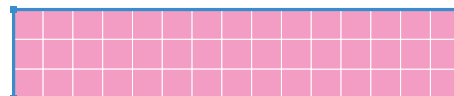
環境設定／ガイド・グリッドから 【グリッド”1”， 分割数”10”】に変更、メニュー／表示／グリッドにスナップにチェックしてください。この設定を行っておくと、オブジェクトが1ピクセル単位でグリッドに吸着するので、線のにじみの原因を防ぐ事ができます。

※にじみの原因となる線の表現は、線設定ではなく、ボックスに対する塗りで表現することに回避できます。

線3px



塗り3px



- ☒ ラスタライズ設定を行う

効果／ドキュメントのスタライズ効果設定／スクリーン72dpiに設定してください。

オブジェクトをラスタライズ(ピクセル化)する際の解像度設定です。

- ☒ プレビューモードを「ピクセルプレビュー」に設定する

表示／ピクセルプレビューに設定してください。

制作時の画面表示をピクセルで表示する設定です。実際のwebページでどのように表現されるかの確認には必要な設定です。

- ☒ アートボードのプリセット位置は必ず整数に設定する。

アートボードアプシオンでアートボードの左上の数値が整数になるように設定します。

